



## 2023年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月14日

上場会社名 株式会社アイリックコーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 7325 URL <https://www.irrc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝本 竜二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 戸谷 元彦 TEL (03)5840-9551  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年6月期第1四半期の連結業績（2022年7月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第1四半期	1,299	3.4	80	△9.9	83	△10.3	46	△15.7
2022年6月期第1四半期	1,256	22.7	89	346.3	93	338.4	55	1,262.7

(注) 包括利益 2023年6月期第1四半期 46百万円 (△15.7%) 2022年6月期第1四半期 55百万円 (1,262.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第1四半期	5.36	—
2022年6月期第1四半期	6.44	6.37

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第1四半期	4,460	3,802	85.3
2022年6月期	4,578	3,800	83.0

(参考) 自己資本 2023年6月期第1四半期 3,802百万円 2022年6月期 3,800百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2023年6月期	—	—	—	—	—
2023年6月期（予想）	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,122	17.8	304	△27.2	310	△28.1	179	△30.0	20.65

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期1Q	8,708,000株	2022年6月期	8,568,000株
② 期末自己株式数	2023年6月期1Q	367株	2022年6月期	367株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期1Q	8,654,372株	2022年6月期1Q	8,537,633株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年7月1日から2022年9月30日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症への対策や各種政策により、社会経済活動の正常化の兆しが見られました。しかし、世界的な金融引締め等が続く中、ウクライナ情勢の長期化や急速な円安に伴う物価上昇等による景気減速への懸念が強まり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような外部環境の下、当社は「人と保険の未来をつなぐ～Fintech Innovation～」という企業テーマを掲げ、保険分析・販売支援におけるプラットフォームとしての事業展開を推進しております。また、独自開発した『保険IQシステム®』、『ASシステム』、『AS-BOX』及び『スマートOCR®』を活用し、システムユーザーの更なる拡大を目指しております。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ・保険販売事業

直営店部門は、Web広告からの電話相談・オンライン相談への積極的な集客誘導という施策を続けた結果、Webによる予約数は引き続き増加し、既存店における直接来店件数も回復基調となりました。また、今期は新規出店を抑制し集客が低迷する店舗の移転を推進する方針から、3店舗を移転しました。9月末の直営店舗数は前期末と同数の58店舗となり、売上高は前年を上回りました。

法人営業部門は、税制改正の影響がまだ続いており、前年同期は大型契約の獲得があったことから、売上高は前年を下回りました。

この結果、同事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は737,990千円(前年同期比3.3%減)、セグメント利益は91,749千円(同12.0%減)となりました。

#### ・ソリューション事業

FC部門は、9月末のFC店舗数は前期末より1店舗減の195店舗となりました。ただ、他業種などからの新規参入意欲は引き続き大きく、FC登録見込数の増加傾向が続いております。今後も、①新規リクルート活動の強化、②既存代理店への追加出店の提案、③店舗運営指導要員の派遣という施策を実施し、他業界からの新規参入企業への支援と取り込みを行ってまいります。

AS部門は、大手及び中堅生命保険会社において『スマートOCR®健康診断書』や『スマートOCR®診療明細書』の導入、大手保険会社におけるカスタマイズ開発があり、好調に推移しました。生命保険会社42社中11社目のシステムペーパーレス申込API連携が始まるなど、ユーザーの利便性向上に向けた取り組みを積極的に進めています。また、保険販売に積極的な地方銀行の増加傾向は続いており、銀行の導入は6月末の27行から、9月末において32行となりました。

引き続き大手保険会社をはじめとした大型案件は複数継続しており、具体的な導入に向けての検討が進んでおります。今後も全国規模の金融機関や保険会社、地方銀行、企業系代理店による新規導入の獲得に向けて注力致します。

この結果、同事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は396,829千円(前年同期比13.4%増)、セグメント利益は144,925千円(同12.8%増)となりました。

#### ・システム事業

子会社である株式会社インフォディオは、『スマートOCR®』(注)の官公庁関連サービスへのOEM提供など、新規受注が好調に推移しました。また、国税庁、統計センター、みずほ銀行など導入先から継続的に発生するサブスクリプション売上(『スマートOCR®』利用課金)もあり、増収となりました。

『スマートOCR®』については引き続き多くのお問い合わせを頂いており、今後の当社グループの業績を牽引することが期待できる事業の一つです。

この結果、同事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は164,618千円(前年同期比14.8%増)、セグメント利益は43,234千円(前年同期比387.5%増)となりました。

(注)『スマートOCR®』とは、AI(人工知能)を搭載し、ディープラーニング技術(深層学習、人間が自然に行うタスクをコンピュータに学習させる機械学習の手法の一つ)を活用した、非定型帳票対応の次世代型光学的文字認識システムです。

販売費及び一般管理費につきましては、前期に6店舗増加したことによる人件費や家賃の増加、システム開発に伴うソフトウェア償却等から、当第1四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は1,032,582千円(前年同期比

9.1%増)となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高1,299,438千円(前年同期比3.4%増)、営業利益80,833千円(同9.9%減)、経常利益83,417千円(同10.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益46,354千円(同15.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,828,922千円となり、前連結会計年度末に比べ181,236千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が162,466千円減少したことによるものであります。固定資産は1,631,143千円となり、前連結会計年度末に比べ63,143千円増加いたしました。これは主に投資有価証券が43,000千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、4,460,065千円となり、前連結会計年度末に比べ118,093千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は639,126千円となり、前連結会計年度末に比べ119,736千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が79,405千円減少したことによるものであります。固定負債は18,481千円となり、前連結会計年度末に比べ増減はございません。

この結果、負債合計は、657,608千円となり、前連結会計年度末に比べ119,736千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,802,456千円となり、前連結会計年度末に比べ1,643千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払いにより利益剰余金が56,456千円減少、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金が29,339千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は85.3%(前連結会計年度末は83.0%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年8月12日の「2022年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,233,247	2,070,780
売掛金及び契約資産	633,152	593,494
その他	148,003	170,021
貸倒引当金	△4,244	△5,374
流動資産合計	3,010,158	2,828,922
固定資産		
有形固定資産	250,849	251,472
無形固定資産		
のれん	66,958	64,166
ソフトウェア	469,144	511,222
ソフトウェア仮勘定	37,006	16,425
その他	58,814	54,421
無形固定資産合計	631,923	646,235
投資その他の資産		
投資有価証券	110,900	153,900
保証金	406,976	422,183
繰延税金資産	63,717	55,255
その他	103,633	102,096
投資その他の資産合計	685,226	733,435
固定資産合計	1,568,000	1,631,143
資産合計	4,578,158	4,460,065

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	60,662	66,805
未払金	114,881	152,681
未払費用	52,464	44,656
未払法人税等	118,300	38,894
契約負債	237,900	182,564
株主優待引当金	25,872	4,369
その他の引当金	3,458	—
その他	145,323	149,153
流動負債合計	758,863	639,126
固定負債		
その他	18,481	18,481
固定負債合計	18,481	18,481
負債合計	777,344	657,608
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,325,441	1,354,780
資本剰余金	1,268,517	1,297,856
利益剰余金	1,206,667	1,150,210
自己株式	△391	△391
株主資本合計	3,800,234	3,802,456
新株予約権	578	—
純資産合計	3,800,813	3,802,456
負債純資産合計	4,578,158	4,460,065

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,256,809	1,299,438
売上原価	220,273	186,021
売上総利益	1,036,535	1,113,416
差引売上総利益	1,036,535	1,113,416
販売費及び一般管理費	946,824	1,032,582
営業利益	89,711	80,833
営業外収益		
受取利息	72	73
受取賃貸料	4,381	7,149
助成金収入	1,708	277
受取保険金	—	557
その他	54	362
営業外収益合計	6,218	8,420
営業外費用		
支払利息	35	—
賃貸収入原価	2,738	5,738
その他	110	98
営業外費用合計	2,884	5,837
経常利益	93,044	83,417
特別損失		
固定資産除却損	597	0
特別損失合計	597	0
税金等調整前四半期純利益	92,447	83,417
法人税、住民税及び事業税	32,486	28,600
法人税等調整額	4,946	8,462
法人税等合計	37,432	37,062
四半期純利益	55,015	46,354
親会社株主に帰属する四半期純利益	55,015	46,354

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	55,015	46,354
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	55,015	46,354
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,015	46,354

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。